様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	656	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	布施地区の排水施設整備		
	②部課名	建設部・道路課			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	■我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　□全市
	⑤事業期間	平成１５年度　～　平成２６年度		⑥担当職員数	6 人　（換算人数　0.22 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	55,660 千円	当該(開始)年度	（当　初）7,046 千円　（うち人件費　2,046 千円）
					（変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2)目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害の発生を防止するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。		事業目的	排水施設の流末が確保されていない箇所の、生活環境の改善を図る
(3)事業内容	内　容	布施根耕地地区の民地内への生活排水流入排除を行う為、雨水管を布設する 工事延長：４９０ｍ 管布設工　Ｌ＝２８０ｍ，　圧送管布設工　Ｌ＝５０ｍ，　既設側溝改良工　Ｌ＝１６０ｍ，　小型マンホールポンプ設置工　１基		当該年度執行計画	雨水管布設工、管布設工　１１月～３月
				当該年度活動結果指標	雨水管布設工事Ｌ＝１１５ｍを完了する。　単位：ｍ　想定値：115　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	雨水管布設工事を完了させる。	直接	工事の完了率	%	84	100
３年後		－			0	0
最終(概ね５年後)	排水施設整備を完了し、民地内への生活排水流入を解消する。	直接	工事の進捗率（工事費率）	%	0	100

(7)事業実施上の課題と対応	市道上流部にある私道に面した家屋の生活排水を処理するため、検討が必要である。	代替案検討	○有　●無

(8)施行事項

	平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)	実績値(千円)	政策 内　容	金額(千円)	政策 内　容	金額(千円)
実施内容	＊ 工事費	4,500	＊ 工事費	5,000					
予算(済)額	合　計	4,500	合　計	5,000		合　計	0	合　計	0
(9)財源内訳 国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
一般財源		4,500		5,000			0		0
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
(10)人件費等 換算人数(人)	0.22		0.22				0		0
正職員人件費	2,046		2,046				0		0
嘱託職員報酬額	0		0				0		0
臨時職員賃金額	0		0				0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)	6,546		7,046				0		0
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	81.83千円／ｍ		61.27千円／ｍ						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	当該地区周辺は、公共下水道が整備されていないことから、生活排水の処理に道路排水施設が利用されている。しかし、道路排水の一部に流末が確保されていない施設があり、民地に生活排水が垂れ流しされていることから、早急な対策が必要となっている。なお、本事業については、自然流下により既設排水路までの流末整備を行うこととして、ヒューム管を約９００ｍ布設する計画でいたが、工事に伴い用水管を全面的に布設替えする必要が発生し、莫大な費用を要することとなった。このため、排水系統を含めた事業手法の見直しを行い、マンホールポンプにより排水処理を行うこととした。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ●②自治体である市が推進すべきである （理由）■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 道路管理者が行うべき事業である	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 取組む内容：再生材の積極的な使用 ＜その他の内容＞	実施した具体的な内容： 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：84　目標値(b)(%)：100 目標値の妥当性のチェック：■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(%)：　達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円)：7,046　事業費削減額(d)(千円)：△500　事業費削減率(%)：△7.64 実施予定の対策：□①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 ■②現有体制での対応　□⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施　□⑦その他 □④民間委託 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)：　対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：1.42　単位：%　費用単位：10万円 計算方法：●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)：　対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向